

＜第6回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和6年9月24日（火） 18:00～19:15
場 所 竜神交流館 多目的ホール
出席者 委 員 16名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、山口書記、
インターンシップ生
オブザーバー 杉本市議

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

（1）第5回竜神地域会議会議録について

- ・内容の確認
- ・前回質問のあった緑ヶ丘自治区交差点の点滅信号撤去理由を説明

（2）竜神地域会議だよりの回覧について

- ・事務局より説明

（3）令和6年度地域課題解決事業について

①自主防災サポーター養成講座について

- ・事務局より説明、地域会議委員で参加希望の方は各自治区長へ申し出るよう依頼

②スマホアプリ内バナー広告を利用した交通安全啓発 8月度の結果について

- ・事務局より説明

＜委員より質問＞

このバナー広告を見たことがないが、どのように配信されているのか。

＜事務局より回答＞

バナー広告は竜神地域内にいる際に何かのアプリを開いていると自動的に配信される。ただ、大量な種類のバナー広告が配信されており、それらがランダムに表示されるため、比較的表示回数が少ない竜神地域のバナー広告はなかなか表示されない可能性は高い。ただ、支所の職員で竜神地域に居る際にバナー広告が実際に表示された職員もいるので、配信は間違いなくされている。

＜委員より質問＞

費用はどのくらいかかっているのか。

＜事務局より回答＞

1か月の配信で約5万円である。

3 協議事項

（1）交通安全危険箇所マップ作成に向けたワークショップについて

- ・11月26日（火）の地域会議を11月28日（木）午後6時からに変更して危険箇所抽出のワークショップを開催する。地域会議委員にも出席を依頼。

- ・ワークショップ参加者（地域会議委員以外）については、前地域会議委員の推薦や自治区、学校に聞き取りのうえ、事務局で決定、依頼する。

（２）安全運転診断サービス「ドラみる」モニター募集について

- ・事務局より説明、自治区の団体等で推薦団体があれば事務局へ連絡してほしい。

（３）令和７年度高岡４地域合同の地域課題解決事業案について

- ・事務局より説明

（４）令和７年度に実施する交通安全事業について、３つのグループに分かれて協議
前回の地域会議で決定したターゲット＝ドライバーに対して、令和７年度に
どのような事業を展開していくかを協議

- ・グループで出た意見を事業の優先順位の高い順に発表

<Ｃグループ>

- ① 事故のＤＶＤを作成し、警察による勉強会を開催して安全意識を高める。
- ② 近隣企業の従業員と一緒に立哨活動をして連携を高め、交通安全意識向上を図る。
- ③ 地域の生活道路が抜け道になっている場合が多いので、早急にゾーン３０を設定する。

<Ｂグループ>

見た目に訴える事業を展開する

- ① 危険箇所には赤色回転灯を設置し、交通安全啓発を図る。
- ② 警察官の模型等を置いて啓発する。
- ③ 警察官に立哨又は取締りをしてもらう。

また、停止線等が見えなくなっている箇所が多数あるので、まとめて塗り直しをする等方法を考えてはどうか。

<Ａグループ>

- ① スピード超過のドライバーへ「スピード超過」を知らせるデジタル表示板の設置が、予算はかかるがアピール度は大きい。横断歩道の手前などで注意表示など、使い方は無限大である。

また、警察官に立哨をしてもらうのは難しいと思うので、制服を着ている交通指導員等アルバイトを含め、そういった方を増やしてはどうか。また、交通指導員の制服を新調するのも予算の関係で難しいと聞いているので、その辺りの予算化を検討するのも良いと思う。

（５）令和７年度に実施する交通安全危険箇所マップを活用した事業について

- ・事務局の案を説明

- ①地域内全戸配布、地域内の事業所への配布
- ②自治区のウォーキングイベントに合わせた、地域内の危険箇所を実際に歩く街歩きイベントを実施

4 その他

- ・防災士研修会について
事務局より説明

★次回開催

10月22日(火) 午後6時00分～